



ビバリーヒルズホテル「The Beverly Hills Hotel」はロデオドライブから少し離れたサンセット大通りに位置し、外壁をピンクで塗装した夢のような外観から“ピンクの宮殿”「The Pink Palace」とも呼ばれる。現在は、「Dorchester Collection」の米国での旗艦ホテルである



創業は1912年、このホテルはプライバシーを保てる環境で知られ、ビバリーヒルズの映画スターが集う華やかなイメージの代名詞になっている



夕暮れ近く、“ピンクの宮殿”「The Pink Palace」は華やかさが増してくる



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

現在、筆者のホームページで
「世界のリーディングホテル」を連載中。
多くの美しい写真と興味深いコメントで、
世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



柱にも大きく「The Beverly Hills Hotel」と書かれた正面エントランス車寄せ



一流ホテルとしての重要なアンピアン스를保つ気品あるエントランスロビー。このホテルを語る上で忘れてはならないのは、イーグルスの『ホテル・カリフォルニア』であろう。1976年にリリースされたイーグルス5作目のアルバムで、同年度のグラミー賞最優秀レコード賞を受賞している



車寄せから赤絨毯が続くアプローチ途中、映画スターたちの撮影用お立ち台がある



シックな雰囲気のリセプションデスク



ビバリーヒルズホテルは地元のセレブリティたちの多くを顧客に持つ



暖炉に火が燃えるエントランスロビーのコーナー

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

The Beverly Hills Hotel

ビバリーヒルズホテル「The Beverly Hills Hotel」はロデオドライブから少し離れたサンセット大通りに位置し、外壁をピンクで塗装した夢のような外観から“ピンクの宮殿”「The Pink Palace」とも呼ばれる。創業は1912年、このホテルはプライバシーを保てる環境で知られ、ビバリーヒルズの映画スターが集う華やかなイメージの代名



メインダイニング「Polo Lounge」は、かつてフランク・シナトラと仲間たちのたまり場であった伝説的なレストランで、ビバリーヒルズで屈指の評価を誇る



優雅な時が流れるメインダイニング「Polo Lounge」



ピアノの生演奏も始まり、ディナーもエレガントな雰囲気が増してくる



バーコーナー「Bar Nineteen 12」は、今でもエンターテインメント業界の著名人が集まるバーとして人気だ



ビバリーヒルズホテルの創業100年を記念したポスター



「Beverly Hills Suite with Patio」の気品あるリビングルーム。ビバリーヒルズホテルはスイートを含む208の客室と庭園内23のバンガローで構成されている



「Beverly Hills Suite with Patio」のベッドルーム。72㎡の広さを持ち、専用パティオを持つスイートだ



リビングルームから緑豊かなテラスのパティオを望む



有名なプールには地元のセレブリティたちが専用カバナで優雅に寛いでいる



メインダイニング「Polo Lounge」のオープンエアでの朝食風景

詞になっている。「ビバリーウィルシャー」が映画プリティウーマンの影響で内外の観光客が増大したのに対し、このビバリーヒルズホテルは地元のセレブリティを顧客に持ち、一流ホテルとしての重要なアンビアンスを保っている。現在は、「Dorchester Collection」の米国での旗艦ホテルである。

ビバリーヒルズホテルを語る上で忘れてはならないのは、イーグルスの『ホテル・カリフォルニア』であろう。1976年にリリースされたイーグルス5作目のアルバムで、同年度のグラミー賞最優秀レコード賞を受賞している。彼らのアルバム・ジャケットに用いられたホテルは、カリフォルニアの太陽の下、椰子の木に囲まれた「ビバリーヒルズホテル」であった。ジャケット内面の写真には夢と現実の落差を象徴する寂れた雰囲気を表現するため、超高級のビバリーヒルズホテルよりも数段格下の「リド・ホテル」の内装を撮影して用いたと言われる。

ビバリーヒルズホテルはスイートを含む208の客室と庭園内23のバンガローで構成されている。一戸建てのバンガローはプライバシーが保全され、特にハリウッドスターたちの御用達となっている。今回は本館にある「Beverly Hills Suite with Patio」を紹介したい。72㎡の広さを持ち、気品あるリビングと緑豊かなテラスのパティオが付属したスイートだ。メインダイニング「Polo Lounge」は、かつてフランク・シナトラと仲間たちのたまり場であった伝説的なレストランで、ビバリーヒルズで屈指の評価を誇る。隣接して、バー「Bar Nineteen 12」があり、今でもエンターテインメント業界の著名人が集まるバーとして人気だ。スパ施設「Beverly Hills Hotel Spa」にはビューティーサロン「Joseph Martin Hair Beauty」やジムなど充実している。

ビバリーヒルズホテルが開業した1912年、周囲は一面のライマメ畑であったが、現在はサンセット大通りを中心に高級住宅街となっている。館内には芝生や花壇のガーデンが広がり、オープンエアのプールには地元のセレブたちが専用カバナで優雅に寛いでいる。ビバリーヒルズホテルはゲストが快適に滞在できる雰囲気がさり気なく演出され、一度は訪れてみたいホテルと言える。